令和6年小野町議会定例会3月会議

議事日程（第3号）

令和6年3月15日（金曜日）午後1時30分開議

- 日程第 1 委員長の審査結果報告（各部常任委員会委員長）
- 日程第 2 委員長の報告に対する質疑
- 日程第 3 議案第 3号 小野町こども家庭センター設置条例について
〔討論、採決、以下日程第12まで同じ〕
- 日程第 4 議案第 4号 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について
- 日程第 5 議案第 5号 会計年度任用職員の給与及び勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例について
- 日程第 6 議案第 6号 小野町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例について
- 日程第 7 議案第 7号 災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例について
- 日程第 8 議案第 8号 小野町手数料徴収条例の一部を改正する条例について
- 日程第 9 議案第 9号 小野町介護保険条例の一部を改正する条例について
- 日程第10 議案第10号 小野町町営住宅等条例の一部を改正する条例について
- 日程第11 議案第11号 小野町上水道事業給水条例の一部を改正する条例について
- 日程第12 議案第12号 小野町布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例について
- 日程第13 議案第13号 令和5年度小野町一般会計補正予算（第7号）
〔討論、採決、以下日程第18まで同じ〕
- 日程第14 議案第14号 令和5年度小野町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）
- 日程第15 議案第15号 令和5年度小野町介護保険特別会計補正予算（第3号）
- 日程第16 議案第16号 令和5年度小野町浄化槽整備推進事業特別会計補正予算（第3号）
- 日程第17 議案第17号 令和5年度小野町文化・体育振興基金特別会計補正予算（第2号）
- 日程第18 議案第18号 令和5年度小野町水道事業会計補正予算（第3号）
- 日程第19 議案第19号 令和6年度小野町一般会計予算
〔討論、採決、以下日程第25まで同じ〕
- 日程第20 議案第20号 令和6年度小野町国民健康保険特別会計予算
- 日程第21 議案第21号 令和6年度小野町後期高齢者医療特別会計予算
- 日程第22 議案第22号 令和6年度小野町介護保険特別会計予算
- 日程第23 議案第23号 令和6年度小野町浄化槽整備推進事業特別会計予算
- 日程第24 議案第24号 令和6年度小野町文化・体育振興基金特別会計予算
- 日程第25 議案第25号 令和6年度小野町水道事業会計予算
- 日程第26 議案第26号 小野町道路線の認定について

[討論、採決、以下日程第27まで同じ]

日程第27 議案第27号 小野町道路線の廃止について

本日の会議に付した事件

日程第1から日程第27まで議事日程に同じ

(追加)

追加日程第1 議員提出議案第1号 議員派遣について

[上程、説明、質疑、討論、採決]

追加日程第2 議員提出議案第2号 議会改革特別委員会の設置について

[上程、説明、質疑、討論、採決]

出席議員(11名)

1番	橋	本	善	雄	君	2番	國	分	順	一	君	
3番	羽	生	洋	市	君	4番	會	田	百	合	子	君
5番	緑	川	久	子	君	6番	先	崎	勝	馬	君	
7番	竹	川	里	志	君	8番	宗	像	芳	男	君	
9番	水	野	正	廣	君	11番	中	野	孝	一	君	
12番	田	村	弘	文	君							

欠席議員(なし)

地方自治法第121条第1項の規定により説明のため出席した者の職氏名

町長	村上昭正君	副町長	菅野望君
教育長	有賀仁一君	総務課長	村上昭一君
企画政策課長	西牧英一君	税務課長	吉田ひろ子君
町民生活課長	矢吹昌之君	健康福祉課長	先崎実君
子育て支援課長	先崎秀一君	産業振興課長兼農業委員会事務局長	鈴木稔君
地域整備課長	矢吹浩司君	教育課長	吉田隆君
会計管理者兼出納室長	佐藤金哉君	代表監査委員	佐久間金治君

職務のため出席した者の職氏名

事務局長 郡司 功 次 長 郡司 治 子

書 記 渡 邊 裕 之

書 記 新 田 晟 也

開議 午後 1時30分

◎開議の宣告

- 議長（田村弘文君） ただいまから令和6年小野町議会定例会3月会議、第9日目の会議を開きます。
ただいま出席している議員は11名で定足数に達しており、会議は成立いたしました。
-

◎議事日程の報告

- 議長（田村弘文君） 本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。
-

◎委員長の審査結果報告

- 議長（田村弘文君） 日程第1、各部常任委員会より付託事件の審査結果の報告を求めます。

初めに、予算決算常任委員会の報告を求めます。

予算決算常任委員会委員長。

6番、先崎勝馬委員長。

〔予算決算常任委員会委員長 先崎勝馬君登壇〕

- 予算決算常任委員会委員長（先崎勝馬君） 予算決算常任委員会における付託事件の審査の結果並びに経過についてご報告申し上げます。

令和6年小野町議会定例会3月会議において予算決算常任委員会に付託された事件は、各部常任委員会付託事件表のとおりであり、審査の結果と経過につきましては、お手元に配付の委員長報告のとおりであります。

以上申し上げて、予算決算常任委員会の報告といたします。

- 議長（田村弘文君） 次に、総務文教常任委員会の報告を求めます。

総務文教常任委員会委員長。

5番、緑川久子委員長。

〔総務文教常任委員会委員長 緑川久子君登壇〕

- 総務文教常任委員会委員長（緑川久子君） 令和6年小野町議会定例会3月会議において総務文教常任委員会に付託された事件は、各部常任委員会付託事件表のとおりであり、その審査の結果と経過について報告いたします。

議案第4号 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について、総務課長に出席を求め、議案の内容について詳細な説明を受け審査した結果、全委員異議なく原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

本案は、福島県人事委員会の職員の給与等に関する報告及び勧告を踏まえ、福島県に準じて通勤手当の上限額の改正を行うものであります。

次に、議案第5号 会計年度任用職員の給与及び勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例について、総務課長に出席を求め、議案の内容について詳細な説明を受け審査した結果、全委員異議なく原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

本案は、地方自治法の一部改正及び福島県における会計年度任用職員の給与及び勤務時間等に関する条例が一部改正されたことに伴い、会計年度任用職員への勤勉手当支給に係る規定整備等の改正を行うものであります。

なお、委員からは、県の会計年度任用職員等との比較、町での採用人数について質疑がありました。

次に、議案第6号 小野町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例について、町民生活課長に出席を求め、議案の内容について詳細な説明を受け審査した結果、全委員異議なく原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

本案は、電子署名等に係る地方公共団体情報システム機構の認証業務に関する法律の一部改正に伴い、マイナンバーカード所有者はスマートフォンにマイナンバーカードの機能を持たせ、オンラインで行政手続や民間サービスを楽しむよう改正を行うものであります。

なお、委員からは、マイナンバーカードの活用や安全性、相談窓口について質疑がありました。

次に、議案第7号 災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例について、町民生活課長に出席を求め、議案の内容について詳細な説明を受け審査した結果、全委員異議なく原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

本案は、災害弔慰金の支給等に関する法律の一部改正に伴い、災害援護資金の保証人や利率、償還方法などの見直し並びに災害弔慰金及び災害障害見舞金の支給に関する審議を行う委員会の設置について改正を行うものであります。

なお、委員からは、改正内容の趣旨について質疑がありました。

次に、議案第8号 小野町手数料徴収条例の一部を改正する条例について、町民生活課長に出席を求め、議案の内容について詳細な説明を受け審査した結果、全委員異議なく原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

本案は、新たに戸籍証明書に代わる電子証明書提供用識別符号の交付等が始まることに伴い、地方公共団体の手数料の標準に関する政令が改正されることから、所要の改正を行うものであります。

以上が、令和6年小野町議会定例会3月会議において総務文教常任委員会に付託された事件の審査結果及び経過であります。

○議長（田村弘文君） 次に、厚生産業常任委員会の報告を求めます。

厚生産業常任委員会委員長。

4番、會田百合子委員長。

〔厚生産業常任委員会委員長 會田百合子君登壇〕

○厚生産業常任委員会委員長（會田百合子君） 令和6年小野町議会定例会3月会議において厚生産業常任委員会に付託された事件は、各部常任委員会付託事件表のとおりであり、その審査の結果と経過について報告いたします。

議案第3号 小野町こども家庭センター設置条例について、子育て支援課長に出席を求め、議案の内容について審査した結果、全委員異議なく原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

本案は、母子保健・児童福祉両機能の連携・協働を深め、子育てに困難を抱える家庭に対して、切れ目なく漏れなく対応するなど、支援体制の整備、支援の促進等の業務、2つ目に、母子保健法第22条の規定に基づく母性、乳児、幼児の健康保持及び増進に関する支援に必要な実情把握、相談、関係機関との連絡調整、健康保持等に支援を必要とする者の計画の作成、支援等の業務などと成るものです。

委員からは、小野町こども家庭センター分館の機能や位置づけ、センター長の職責について質疑がありました。

次に、議案第9号 小野町介護保険条例の一部を改正する条例について、健康福祉課長に出席を求め、議案の内容について審査した結果、全委員異議なく原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

本案は、第9期小野町介護保険事業計画期間における介護保険料を定めるほか、介護保険法施行令の一部を改正する政令が令和6年1月19日に公布されたことから、所要の改正を行うものです。

次に、議案第10号 小野町町営住宅等条例の一部を改正する条例について、地域整備課長に出席を求め、議案の内容について審査した結果、全委員異議なく原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

本案は、公営浮金須和間住宅及び谷津作前之内住宅並びに町営七生根住宅の除却に伴い、所要の改正を行うものです。

次に、議案第11号 小野町上水道事業給水条例の一部を改正する条例について、地域整備課長に出席を求め、議案の内容について審査した結果、全委員異議なく原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

本案は、水道法等の一部改正等に伴い、水道法等による権限が厚生労働大臣から国土交通大臣に移管となることから、所要の改正を行うものです。

次に、議案第12号 小野町布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例について、地域整備課長に出席を求め、議案の内容について審査した結果、全委員異議なく原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

本案は、議案第11号と同様に、水道法等の一部改正等に伴い、水道法等による権限が厚生労働大臣から国土交通大臣に移管となることから、所要の改正を行うものです。

次に、議案第26号 小野町道路線の認定について、地域整備課長に出席を求め、議案の内容について審査した結果、全委員異議なく原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

本案は、大字雁股田字堀切地内に整備が進められておりました町道堀切2号線の道路工事が完了したことから、町道路線への新規認定を行い、住民の生活環境の向上と適切な道路管理を図るため、道路法第8条第2項の規定により議会の議決を求められたものです。

次に、議案第27号 小野町道路線の廃止について、地域整備課長に出席を求め、議案の内容について審査した結果、全委員異議なく原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

本案は、町道の適正管理を目的に、大字雁股田字永風地内の町道永風3号線を道路法第10条第3項の規定により廃止するため、議会の議決を求められたものです。

なお、委員より、町道の廃止に伴う工業団地への影響について質疑がありました。

次に、陳情第1号 福島県最低賃金の引上げと早期発効を求める意見書提出陳情書についてであります。本案は、令和6年2月13日に受理された陳情で、意見書を内閣総理大臣、厚生労働大臣及び福島労働局長へ提出するよう陳情があったものです。

3月7日開催の本会議において本委員会に付託されましたが、本会議終了後、陳情者より陳情書の記載内容に誤りがあったことから陳情を取下げたい旨の電話連絡があり、書面による取下げ書の提出を求め、3月8日開催の厚生産業常任委員会では審査保留としました。

令和6年3月11日に取下げ書の提出があったことから、当委員会においては、本陳情の取扱いを審査不要と決定することにいたしました。

以上が、令和6年小野町議会定例会3月会議において厚生産業常任委員会に付託された事件の審査結果及び経過であります。

◎委員長の報告に対する質疑

○議長（田村弘文君） 日程第2、各部常任委員会委員長の報告に対する質疑を行います。

質疑ありませんか。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（田村弘文君） 質疑なしと認めます。

これで各部常任委員会委員長の報告に対する質疑を終わります。

◎議案第3号の討論

○議長（田村弘文君） 日程第3、議案第3号 小野町子ども家庭センター設置条例についてを議題といたします。

これより討論に入ります。

事前の通告がありませんので、討論を終結いたします。

◎議案第3号の採決

○議長（田村弘文君） 議案の採決を行います。

議案第3号 小野町子ども家庭センター設置条例についてお諮りいたします。本案は原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○議長（田村弘文君） ご異議なしと認めます。

したがって、議案第3号については原案のとおり可決されました。

◎議案第4号～議案第12号の討論

○議長（田村弘文君） 日程第4、議案第4号 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例についてから日程第12、議案第12号 小野町布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例についてまでの9議案を一括して議題といたします。

これより討論に入ります。

事前の通告がありませんので、討論を終結いたします。

◎議案第4号～議案第12号の採決

○議長（田村弘文君） 議案第4号 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例についてから議案第12号 小野町布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例についてまでの9議案についてお諮りいたします。本案はそれぞれ原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○議長（田村弘文君） ご異議なしと認めます。

したがって、議案第4号から議案第12号までの9議案については、それぞれ原案のとおり可決されました。

◎議案第13号～議案第18号の討論

○議長（田村弘文君） 日程第13、議案第13号 令和5年度小野町一般会計補正予算（第7号）から日程第18、議案第18号 令和5年度小野町水道事業会計補正予算（第3号）まで6議案を一括して議題といたします。

これより討論に入ります。

事前の通告がありませんので、討論を終結いたします。

◎議案第13号の採決

○議長（田村弘文君） 議案の採決を行います。

初めに、議案第13号 令和5年度小野町一般会計補正予算（第7号）についてお諮りいたします。本案は原案のとおり決定することに賛成する議員の起立を求めます。

〔起立全員〕

○議長（田村弘文君） 起立全員であります。

したがって、議案第13号 令和5年度小野町一般会計補正予算（第7号）については原案のとおり可決されました。

◎議案第14号～議案第18号の採決

○議長（田村弘文君） 次に、議案第14号 令和5年度小野町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）から議案第18号 令和5年度小野町水道事業会計補正予算（第3号）までの5議案についてお諮りいたします。本案はそれぞれ原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○議長（田村弘文君） ご異議なしと認めます。

したがって、議案第14号から議案第18号までの5議案については、それぞれ原案のとおり可決されました。

◎議案第19号～議案第25号の討論

○議長（田村弘文君） 日程第19、議案第19号 令和6年度小野町一般会計予算から日程第25、議案第25号 令和6年度小野町水道事業会計予算まで7議案を一括議題といたします。

これより討論に入ります。

事前の通告がありませんので、討論を終結いたします。

◎議案第19号の採決

○議長（田村弘文君） 議案の採決を行います。

初めに、議案第19号 令和6年度小野町一般会計予算についてお諮りいたします。本案は原案のとおり決定することに賛成する議員の起立を求めます。

〔起立全員〕

○議長（田村弘文君） 起立全員であります。

したがって、議案第19号 令和6年度小野町一般会計予算については原案のとおり可決されました。

◎議案第20号～議案第25号の採決

○議長（田村弘文君） 次に、議案第20号 令和6年度小野町国民健康保険特別会計予算から議案第25号 令和6年度小野町水道事業会計予算まで6議案についてお諮りいたします。本案はそれぞれ原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○議長（田村弘文君） ご異議なしと認めます。

したがって、議案第20号から議案第25号までの6議案については、それぞれ原案のとおり可決されました。

◎議案第26号及び議案第27号の討論

○議長（田村弘文君） 日程第26、議案第26号 小野町道路線の認定についてから日程第27、議案第27号 小野町道路線の廃止についてまで2議案を一括して議題といたします。

これより討論に入ります。

事前の通告がありませんので、討論を終結いたします。

◎議案第26号及び議案第27号の採決

○議長（田村弘文君） 議案の採決を行います。

議案第26号 小野町道路線の認定についてから議案第27号 小野町道路線の廃止についてまで2議案についてお諮りいたします。本案はそれぞれ原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○議長（田村弘文君） ご異議なしと認めます。

したがって、議案第26号から議案第27号までの2議案については、それぞれ原案のとおり可決されました。

○議長（田村弘文君） 暫時休議といたします。

これより追加議事の資料を配付いたします。

休憩 午後 1時57分

再開 午後 1時57分

○議長（田村弘文君） 追加議事日程及び議員提出議案第1号から議員提出議案第2号までの議案を配付いたし

ましたが、配付漏れはありませんか。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（田村弘文君） なければ、再開いたします。

◎議員提出議案第1号の上程、説明

○議長（田村弘文君） 追加日程第1、議員提出議案第1号 議員派遣についてを議題といたします。

本案は、議案の朗読を省略し、提出者から提案理由の説明を求めます。

議員提出議案第1号 議員派遣について、7番、竹川里志議員の説明を求めます。

7番、竹川里志議員。

〔7番 竹川里志君登壇〕

○7番（竹川里志君） 議員提出議案第1号 議員派遣について、小野町議会会議規則第14条の規定により、下記のとおり提出する。

令和6年3月15日提出。

提出者、竹川里志、賛成者、先崎勝馬、同じく宗像芳男、同じく緑川久子、同じく會田百合子、同じく羽生洋市の各議員であります。

提案理由、地方自治法第100条第13項及び小野町議会会議規則第127条第1項の規定に基づき、議員を派遣するため提出する。

以上であります。議員各位のご賛同をよろしくお願いいたします。

◎議員提出議案第1号の質疑

○議長（田村弘文君） 議案に対する質疑を行います。

議員提出議案第1号 議員派遣について質疑を行います。

質疑ありませんか。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（田村弘文君） 質疑なしと認めます。

したがって、質疑を終わります。

◎議員提出議案第1号の討論

○議長（田村弘文君） 続いて、討論を行います。

議員提出議案第1号を討論に付します。

討論ありませんか。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（田村弘文君） 討論なしと認めます。

したがって、討論を終わります。

◎議員提出議案第1号の採決

○議長（田村弘文君） 次に、議案の採決を行います。

議員提出議案第1号 議員派遣についてお諮りいたします。本案は原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○議長（田村弘文君） ご異議なしと認めます。

したがって、議員提出議案第1号については原案のとおり可決されました。

◎議員提出議案第2号の上程、説明

○議長（田村弘文君） 追加日程第2、議員提出議案第2号 議会改革特別委員会の設置についてを議題といたします。

本案は、議案の朗読を省略し、提出者から提案理由の説明を求めます。

議員提出議案第2号 議会改革特別委員会の設置について、9番、水野正廣議員の説明を求めます。

9番、水野正廣議員。

〔9番 水野正廣君登壇〕

○9番（水野正廣君） 議員提出議案第2号 議会改革特別委員会の設置について、地方自治法第109条及び小野町議会委員会条例第5条の規定により、次のとおり特別委員会を設置するものとする。

令和6年3月15日提出。

提出者、水野正廣、賛成者、中野孝一、同じく宗像芳男、同じく竹川里志、同じく先崎勝馬、同じく緑川久子、同じく會田百合子、同じく羽生洋市、同じく國分順一、同じく橋本善雄の各議員であります。

提案理由、1、委員会の名称、議会改革特別委員会、2、調査機関、調査の完了する日まで、3、委員の定数、10名、4、設置の目的、議会に係る諸課題を整理し、議会改革及び政策議論の在り方等の調査・検討を行う。

以上であります。議員各位のご賛同をよろしくお願いいたします。

◎議員提出議案第2号の質疑

○議長（田村弘文君） 議案に対する質疑を行います。

議員提出議案第2号 議会改革特別委員会の設置について質疑を行います。

質疑ありませんか。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（田村弘文君） 質疑なしと認めます。

したがって、質疑を終わります。

◎議員提出議案第2号の討論

○議長（田村弘文君） 続いて、討論を行います。

議員提出議案第2号を討論に付します。

討論ありませんか。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（田村弘文君） 討論なしと認めます。

したがって、討論を終わります。

◎議員提出議案第2号の採決

○議長（田村弘文君） 次に、議案の採決を行います。

議員提出議案第2号 議会改革特別委員会の設置についてお諮りいたします。本案は原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○議長（田村弘文君） ご異議なしと認めます。

したがって、議員提出議案第2号については原案のとおり可決されました。

◎議会改革特別委員会の委員の選任

○議長（田村弘文君） ただいま設置されました議会改革特別委員会の委員の選任については、委員会条例第6条第4項により、議長において、1番、橋本善雄議員、2番、國分順一議員、3番、羽生洋市議員、4番、會田百合子議員、5番、緑川久子議員、6番、先崎勝馬議員、7番、竹川里志議員、8番、宗像芳男議員、9番、水野

正廣議員、11番、中野孝一議員を指名いたします。ご異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○議長（田村弘文君） ご異議なしと認めます。

したがって、議会改革特別委員会の委員は、ただいまの議長の指名のとおり選任することに決定いたします。

ただいま設置されました議会改革特別委員会の正副委員長の選任につきましては、委員会条例第7条第2項の規定により特別委員会の互選となりますので、ここで暫時休議といたします。

休議の間、ただいま設置されました議会改革特別委員会を開催いたし、正副委員長の互選を行い、その結果について議長に報告を願います。

休憩 午後 2時05分

再開 午後 2時13分

○議長（田村弘文君） 再開いたします。

休憩前に引き続き、会議を開きます。

◎議会改革特別委員会の正副委員長の互選結果報告

○議長（田村弘文君） 議会改革特別委員会の正副委員長の選任について報告いたします。

委員長に中野孝一議員、副委員長に宗像芳男議員が互選されました。

以上を申し上げて、報告といたします。

◎閉議の宣告

○議長（田村弘文君） これで、定例会3月会議に付議された事件は全て終了いたしました。

◎議長挨拶

○議長（田村弘文君） 令和6年定例会3月会議の閉会に当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

私ども11名の議員は1月執行の通常選挙で選出され、2月1日に発足した議会構成では、常任委員会委員長への女性議員の就任、新人議員の要職への配置など、新しい体制の下で議会活動を開始いたしました。特に、3名の新人議員が積極的に議会活動に参加されていることは、大変心強い限りであります。

本定例会は、改選後の初めての定例会で、9日間の長きにわたり執行部より提出された条例の新規制定及び改正、令和5年度の各会計の補正予算、令和6年度当初予算、道路線の認定、廃止、人事案件など27議案と議員提出議案2議案など、町政執行上、また、議会活動をする上での重要な案件の審議でもありました。一部委員会では、熱心さのあまり質問、意見等で議員よりお気の強い発言があったかと思いますが、所管課長の寛容な取り計らいにより、感謝を申し上げます。

議員各位、執行部の皆さんの連日のご精励により、議会運営委員会より示された会期及び議事日程の運営方針どおりに議了することができました。議員各位並びに執行部の皆さんには、円滑な議会運営をしていただきましたご協力に対し、議長として改めて御礼を申し上げます。ありがとうございました。

また、一般質問には6名の議員が登壇し、町の事務事業各般にわたり質問を行いました。執行部におかれましては、一般質問をはじめ委員会等での質疑、意見、要望等を十分に踏まえられ、今後の各施策の推進を図られますようご期待をいたします。

住民の安全・安心の確保と福祉の向上はもとより、地方議会が抱えている多くの課題解決に向けて努力していくことが私ども議会の責務でもあります。特に、地域の多様な民意を集約する議会の役割は極めて大きいものであり、多様な人材が参画し、住民に開かれた議会を実現していくことが求められております。

また、今回の定数割れによる28年ぶりの無投票当選の選挙結果については、しっかりと議会内で議論し、課題解消に向けた取組を行ってまいります。

「人が輝き みんなでつくる しあわせおのまち」の将来像を実現するために令和6年度の当初予算では、村上町長の下で、将来の小野町を見据えたソフト、ハードの大型事業が幾つか予算づけされており、早期の実現が期待されます。

3月の半ばを迎え、桜の開花予想が報じられておりますが、当地方はまだまだ寒暖の差が大きい日が続くと思いますので、議員各位、また、町執行部の皆さんにおかれましてはご自愛をいただき、引き続き町政伸展と町民の福祉向上にご尽力くださるようお願いをいたしまして、本定例会のご挨拶といたします。ありがとうございました。

◎町長挨拶

○議長（田村弘文君） この際、町長から発言があれば、これを許します。

町長。

村上町長。

〔町長 村上昭正君登壇〕

○町長（村上昭正君） 令和6年小野町議会定例会3月会議の閉会に当たり、一言御礼を申し上げます。

本定例会には、条例制定案件1件、条例改正案件9件、令和5年度各会計補正予算案件6件、令和6年度各会計当初予算案件7件、道路路線認定、廃止案件2件、人事案件2件の議案27件をご提案申し上げましたところでありますが、議員の皆様には連日ご精励の上、慎重ご審議の結果、全議案ご議決を賜りまして、誠にありがとう

ございました。

また、一般質問での多岐にわたるご質問やご提案、更には委員会審議の過程でいただきましたご意見、ご助言に対しましては、趣旨を十分に踏まえまして、今後の町政運営に努めてまいります。

さて、3月11日には、東日本大震災及び原発事故から13年目を迎えました。この間、町民の皆さんのご努力と、多くの皆さんのご支援をいただき、当町は震災前の状態に戻りつつあります。4月13日には、福島県が福島復興再生道路として整備を進めておりました県道吉間田滝根線が開通することとなりました。浜通りと中通りを結ぶ重要な路線となりますので、双葉郡との地域連携を図りながら新たな地域間交流が広がることを期待しているところであります。

本年度に引き続き、小野町総合計画に掲げる将来像「人が輝き みんなでつくる しあわせおのまち」実現のため、各種施策に取り組んでまいります。特に、現在お住まいの町民の皆様が幸せを感じ、安全・安心に暮らしていけるまちづくりに努めてまいります。

また、少子高齢化、人口減少が進行する中、交流人口や関係人口の拡大などを図り、人の流れを呼び込み、地域の活性化を目指す持続可能なまちづくりにも積極的に取り組んでまいります。

結びに、季節の変わり目で寒暖の差が大きい日が続きますので、議員各位におかれましては、くれぐれも健康にご留意をいただき、引き続き町政の発展のためご指導、ご支援賜りますようお願い申し上げます。閉会に当たっての御礼の挨拶といたします。大変ありがとうございました。

◎散会の宣告

○議長（田村弘文君） 本日の会議は、これをもって散会といたします。

散会 午後 2時21分

総務文教常任委員会委員長の報告

○総務文教常任委員会委員長（緑川久子君） 令和6年小野町議会定例会3月会議において総務文教常任委員会に付託された事件は、各部常任委員会付託事件表のとおりであり、その審査の結果と経過について報告いたします。

議案第4号 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について、総務課長に出席を求め、議案の内容について詳細な説明を受け審査した結果、全委員異議なく原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

本案は、福島県人事委員会の職員の給与等に関する報告及び勧告を踏まえ、福島県に準じて通勤手当の上限額の改正を行うものであります。

次に、議案第5号 会計年度任用職員の給与及び勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例について、総務課長に出席を求め、議案の内容について詳細な説明を受け審査した結果、全委員異議なく原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

本案は、地方自治法の一部改正及び福島県における会計年度任用職員の給与及び勤務時間等に関する条例が一部改正されたことに伴い、会計年度任用職員への勤勉手当支給に係る規定整備等の改正を行うものであります。

なお、委員からは、県の会計年度任用職員等との比較、町での採用人数について質疑がありました。

次に、議案第6号 小野町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例について、町民生活課長に出席を求め、議案の内容について詳細な説明を受け審査した結果、全委員異議なく原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

本案は、電子署名等に係る地方公共団体情報システム機構の認証業務に関する法律の一部改正に伴い、マイナンバーカード所有者はスマートフォンにマイナンバーカードの機能を持たせ、オンラインで行政手続や民間サービスを楽しむよう改正を行うものであります。

なお、委員からは、マイナンバーカードの活用や安全性、相談窓口について質疑がありました。

次に、議案第7号 災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例について、町民生活課長に出席を求め、議案の内容について詳細な説明を受け審査した結果、全委員異議なく原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

本案は、災害弔慰金の支給等に関する法律の一部改正に伴い、災害援護資金の保証人や利率、償還方法などの見直し並びに災害弔慰金及び災害障害見舞金の支給に関する審議を行う委員会の設置について改正を行うものであります。

なお、委員からは、改正内容の趣旨について質疑がありました。

次に、議案第8号 小野町手数料徴収条例の一部を改正する条例について、町民生活課長に出席を求め、議案の内容について詳細な説明を受け審査した結果、全委員異議なく原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

本案は、新たに戸籍証明書に代わる電子証明書提供用識別符号の交付等が始まることに伴い、地方公共団体の手数料の標準に関する政令が改正されることから、所要の改正を行うものであります。

以上が、令和6年小野町議会定例会3月会議において総務文教常任委員会に付託された事件の審査結果及び経過であります。

厚生産業常任委員会委員長の報告

○厚生産業常任委員会委員長（會田百合子君） 令和6年小野町議会定例会3月会議において厚生産業常任委員会に付託された事件は、各部常任委員会付託事件表のとおりであり、その審査の結果と経過について報告いたします。

議案第3号 小野町子ども家庭センター設置条例について、子育て支援課長に出席を求め、議案の内容について審査した結果、全委員異議なく原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

本案は、母子保健・児童福祉両機能の連携・協働を深め、子育てに困難を抱える家庭に対して、切れ目なく漏れなく対応するなど、支援体制の整備、支援の促進等の業務、2つ目に、母子保健法第22条の規定に基づく母性、乳児、幼児の健康保持及び増進に関する支援に必要な実情把握、相談、関係機関との連絡調整、健康保持等に支援を必要とする者の計画の作成、支援等の業務などと成るものです。

委員からは、小野町子ども家庭センター分館の機能や位置づけ、センター長の職責について質疑がありました。

次に、議案第9号 小野町介護保険条例の一部を改正する条例について、健康福祉課長に出席を求め、議案の内容について審査した結果、全委員異議なく原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

本案は、第9期小野町介護保険事業計画期間における介護保険料を定めるほか、介護保険法施行令の一部を改正する政令が令和6年1月19日に公布されたことから、所要の改正を行うものです。

次に、議案第10号 小野町町営住宅等条例の一部を改正する条例について、地域整備課長に出席を求め、議案の内容について審査した結果、全委員異議なく原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

本案は、公営浮金須和間住宅及び谷津作前之内住宅並びに町営七生根住宅の除却に伴い、所要の改正を行うものです。

次に、議案第11号 小野町上水道事業給水条例の一部を改正する条例について、地域整備課長に出席を求め、議案の内容について審査した結果、全委員異議なく原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

本案は、水道法等の一部改正等に伴い、水道法等による権限が厚生労働大臣から国土交通大臣に移管となることから、所要の改正を行うものです。

次に、議案第12号 小野町布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例について、地域整備課長に出席を求め、議案の内容について審査した結果、全委員異議なく原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

本案は、議案第11号と同様に、水道法等の一部改正等に伴い、水道法等による権限が厚生労働大臣から国土交通大臣に移管となることから、所要の改正を行うものです。

次に、議案第26号 小野町道路線の認定について、地域整備課長に出席を求め、議案の内容について審査した結果、全委員異議なく原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

本案は、大字雁股田字堀切地内に整備が進められておりました町道堀切2号線の道路工事が完了したことから、町道路線への新規認定を行い、住民の生活環境の向上と適切な道路管理を図るため、道路法第8条第2項の規定により議会の議決を求められたものです。

次に、議案第27号 小野町道路線の廃止について、地域整備課長に出席を求め、議案の内容について審査した結果、全委員異議なく原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

本案は、町道の適正管理を目的に、大字雁股田字永風地内の町道永風3号線を道路法第10条第3項の規定により廃止するため、議会の議決を求められたものです。

なお、委員より、町道の廃止に伴う工業団地への影響について質疑がありました。

次に、陳情第1号 福島県最低賃金の引上げと早期発効を求める意見書提出陳情書についてであります。本案は、令和6年2月13日に受理された陳情で、意見書を内閣総理大臣、厚生労働大臣及び福島労働局長へ提出するよう陳情があったものです。

3月7日開催の本会議において本委員会に付託されましたが、本会議終了後、陳情者より陳情書の記載内容に誤りがあったことから陳情を取下げしたい旨の電話連絡があり、書面による取下げ書の提出を求め、3月8日開催の厚生産業常任委員会では審査保留としました。

令和6年3月11日に取下げ書の提出があったことから、当委員会においては、本陳情の取扱いを審査不要と決定することにいたしました。

以上が、令和6年小野町議会定例会3月会議において厚生産業常任委員会に付託された事件の審査結果及び経過であります。